

個人投資家様向け説明会

2013年9月

伊藤忠商事株式会社

証券コード(8001)

1. 伊藤忠商事について

- ・会社概要
- ・昨年度までの業績推移

2. 中期経営計画及び2013年度第1四半期決算について

- ・中期経営計画 —Brand-new Deal 2014—
- ・2013年度第1四半期決算について
- ・投資/EXIT実績について

3. 配当方針

4. 各セグメントのビジネス概要



伊藤忠商事株式会社

- ✓ 創業 1858年
- ✓ 設立 1949年12月1日
- ✓ 従業員数 4,219人(単体)
(2013年3月31日現在)
- ✓ 営業所数 国内9店 海外115店
(2013年3月31日現在)
- ✓ 連結対象会社数 356社
(2013年3月末現在)
- ✓ 連結売上高 12.6兆円(2012年度実績)
- ✓ 当社株主帰属当期純利益
(連結純利益) 2,803億円(2012年度実績)



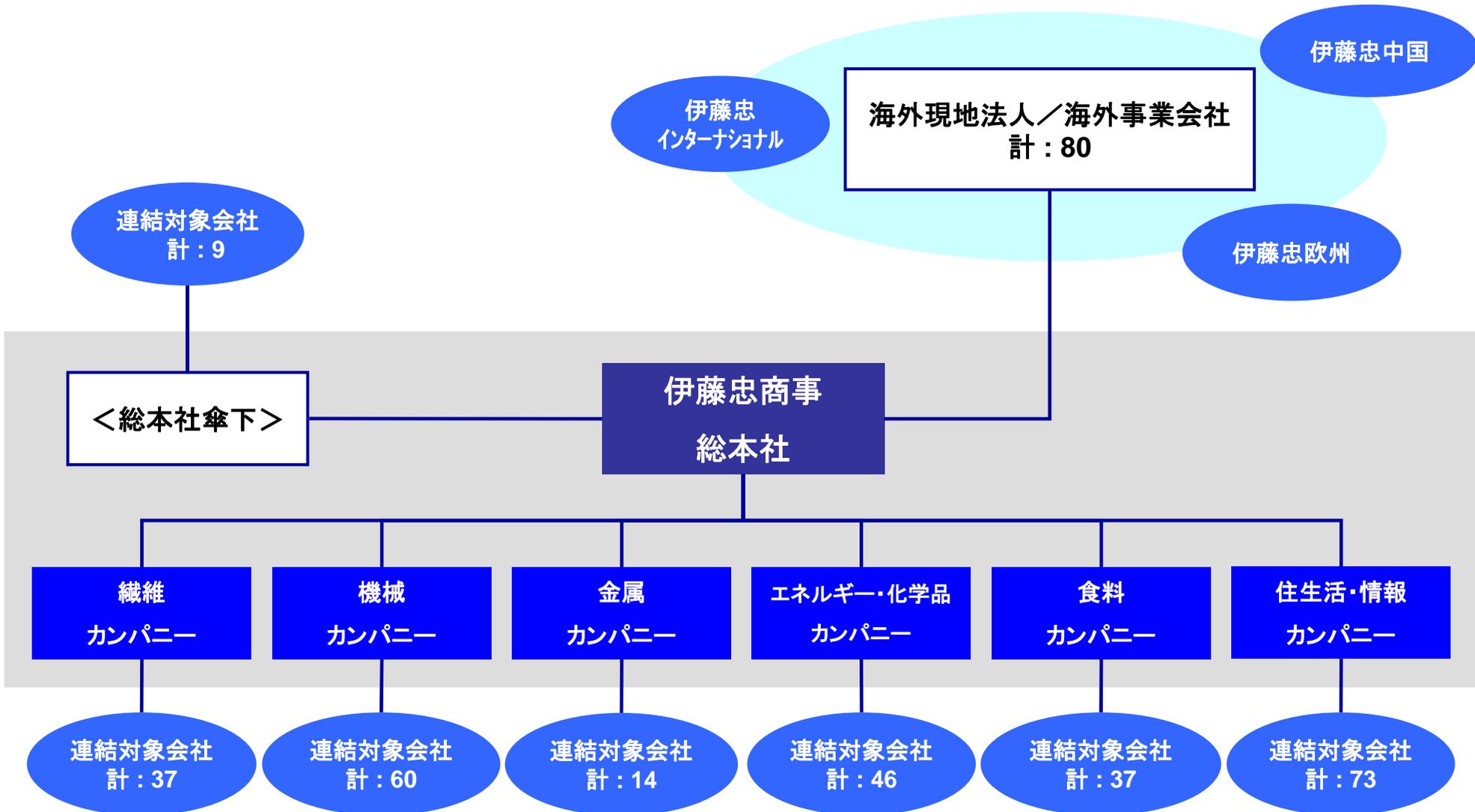
<東京本社>



<大阪本社>



会社組織図



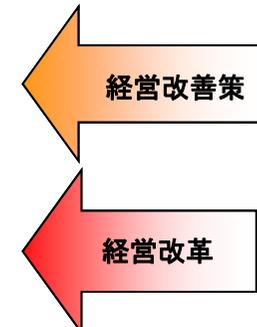
連結対象会社 356社 (2013年3月末現在)



過去の中期経営計画の基本理念



年度	中計テーマ	副題	連結税後利益(億円)
97	G-98	21世紀の成長に向けた 新経営パラダイムの構築	▲950
98			▲341
99	G-2000	低効率経営からの脱却 21世紀への飛躍に向けたチャレンジ	▲883
00			705
01	A&P-2002	新しい伊藤忠グループを目指し、 攻撃と実行を軸においた変革	302
02			199
03	Super A&P-2004	Super A&P戦略推進による 収益力と財務体質の強化	▲324
04			771
05	Frontier- 2006	攻めへのシフトと守りの堅持	1,442
06			1,759
07	Frontier ⁺ 2008	世界企業を目指し、挑む	2,173
08			1,654
09	Frontier ^e 2010	世界企業を目指し、未来を創る	1,289
10			1,611
11	Brand-new Deal 2012	稼ぐ！ 削る！ 防ぐ！	3,005
12			2,803
13	Brand-new Deal 2014	非資源No.1商社を目指して	2,900 (計画)
14			-

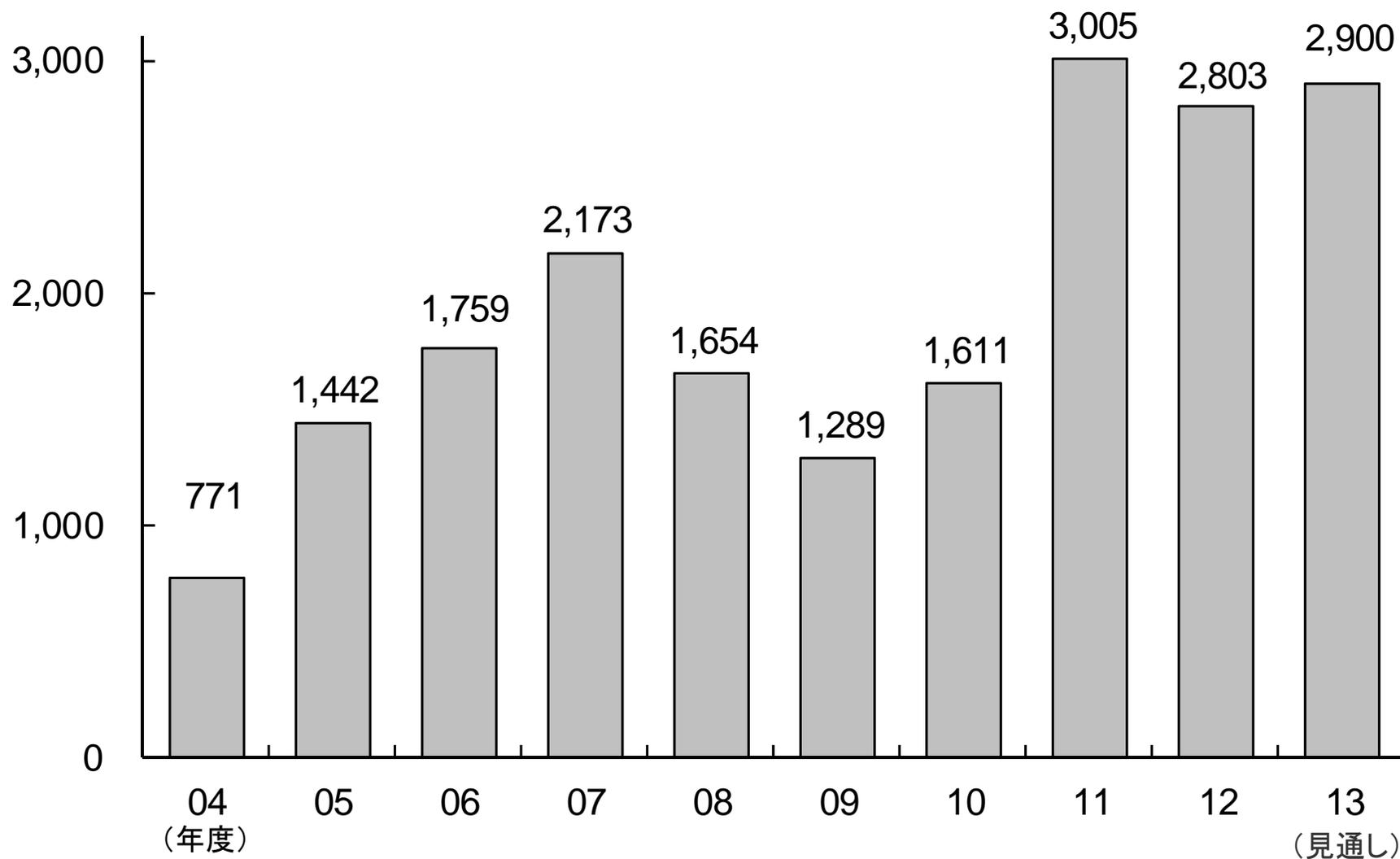




当社株主帰属当期純利益推移

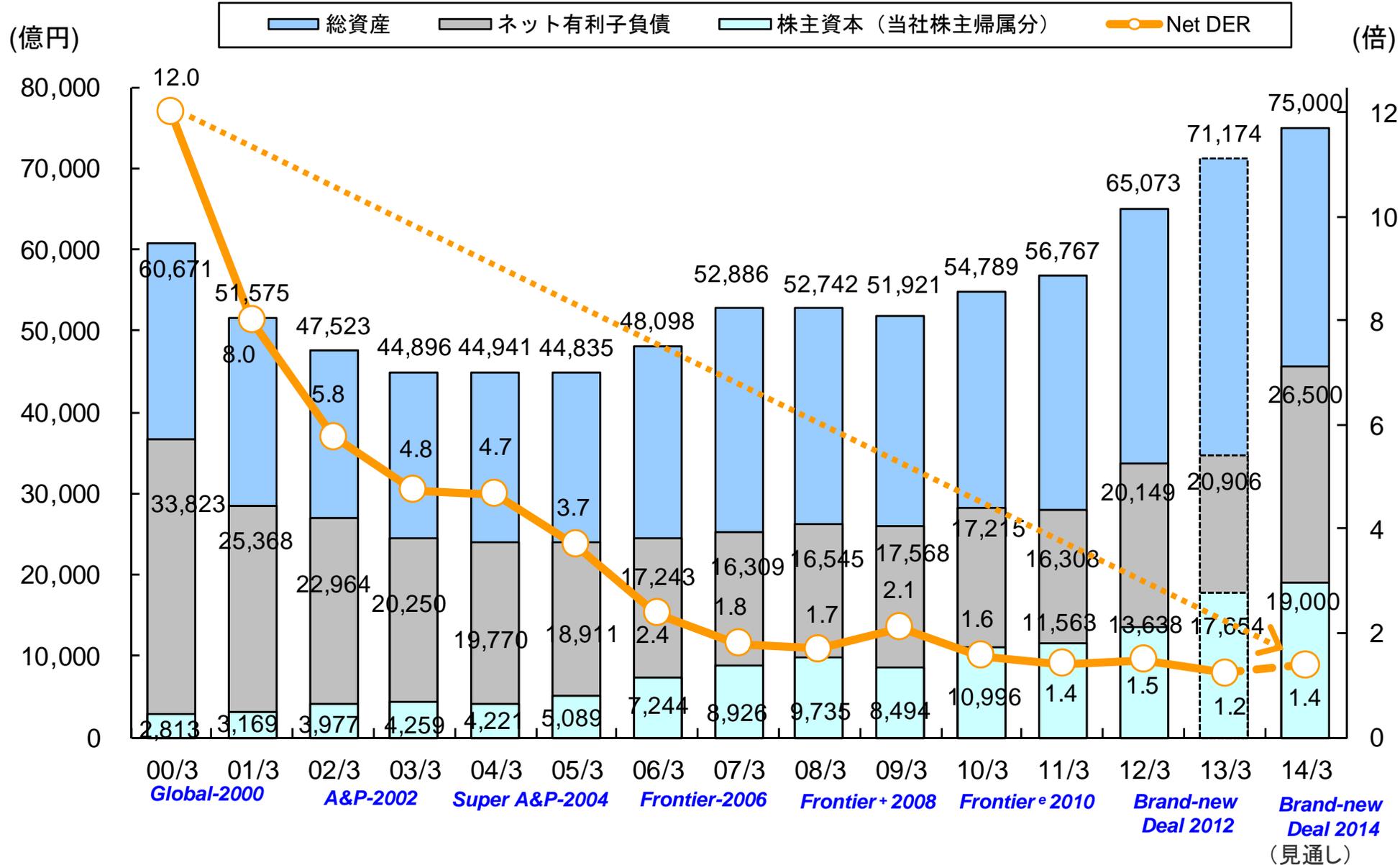


(億円)





財務体質の改善





2011年度/2012年度実績



(P/L)	2011年度 実績	2012年度 実績	増減
売上高	119,047	125,516	+6,468
売上総利益	9,569	9,159	△410
営業利益	2,726	2,442	△286
持分法投資損益	1,027	859	△169
当社株主帰属当期純利益	3,005	2,803	△202

(B/S)	2012年3月末 実績	2013年3月末 実績	増減
総資産	65,073	71,174	+6,102
ネット有利子負債	20,149	21,856	+1,707
株主資本(当社株主帰属分)	13,638	17,654	+4,016
NET DER	1.5 倍	1.2 倍	△0.2ポイント

(単位:億円)

1. 伊藤忠商事について

- ・会社概要
- ・昨年度までの業績推移

2. 中期経営計画及び2013年度第1四半期決算について

- ・中期経営計画 —Brand-new Deal 2014—
- ・2013年度第1四半期決算について
- ・投資/EXIT実績について

3. 配当方針

4. 各セグメントのビジネス概要

伊藤忠、その先へ

Brand-new Deal 2014

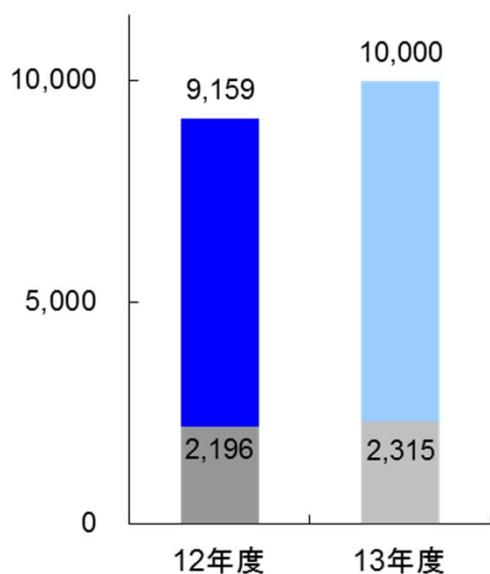
～ 非資源No.1商社を目指して ～

Brand-new Deal 2014 基本方針

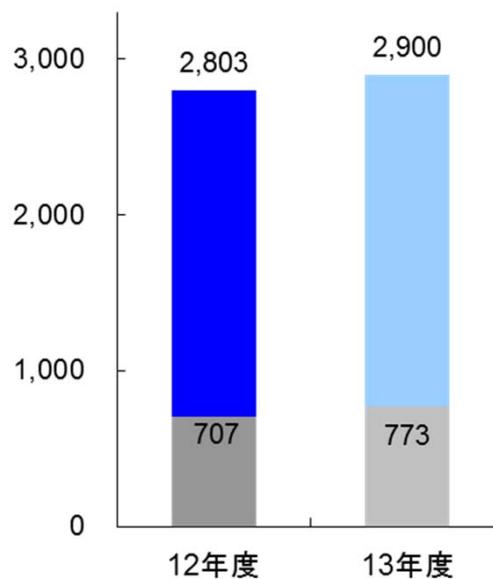
- 収益拡大
- バランスの取れた成長
- 財務規律遵守と低重心経営

	12年度	13年度	増減		13年度	
	1Q (a)	1Q (b)	(b-a)	%	通期見通し ^(5/8公表) (c)	達成率 (b/c)
売上総利益	2,196	2,315	+119	+5%	10,000	23%
営業利益	546	545	△0	△0%	2,800	19%
持分法投資損益	305	263	△42	△14%	1,200	22%
当社株主帰属四半期純利益	707	773	+66	+9%	2,900	27%

売上総利益



当社株主帰属当期(四半期)純利益



■ ■ : 通期(実績/見通し)
■ ■ : 1Q(実績)



セグメント別当社株主帰属当期純利益



	12年度 1Q (a)	13年度 1Q (b)	増減 (b-a)	13年度 通期見通し ^(5/8公表) (c)	達成率 (b/c)
繊維	85	63	△22	290	22%
機械	59	138	+78	370	37%
金属	246	204	△43	850	24%
エネルギー・化学品	83	40	△43	410	10%
エネルギー	51	11	△40	240	4%
化学品	32	29	△3	170	17%
食料	109	114	+4	550	21%
住生活・情報	84	187	+103	530	35%
生活資材	32	59	+26	210	28%
情報・保険・物流	31	30	△1	210	14%
建設・金融	21	99	+78	110	90%
修正消去等	40	28	△12	▲100	-
合計	707	773	+66	2,900	27%

(単位:億円)

投資実績

Brand-new Deal 2014

2012年度

生活消費関連	<ul style="list-style-type: none"> ◆寺岡製作所 ◆HYLIFE ◆METSA FIBRE など 	約 1,350億円
機械関連	<ul style="list-style-type: none"> ◆トーヨーエイテック ◆英国Bristol Water水道事業 ◆豪州ヴィクトリア州海水淡水化事業 ◆Shepherds Flat風力発電 ◆CSC Automated / CSC ESI など 	約 800億円
化学品・建設他	<ul style="list-style-type: none"> ◆Agromate ◆戸田工業 ◆UAF(United Asia Finance)増資など 	約 300億円
資源エネルギー関連	<ul style="list-style-type: none"> ◆IMEA拡張 ◆ACG(アゼルバイジャン) 拡張など 	約 1,050億円
グロス金額		約 3,500億円
ネット金額		約 2,200億円

2013年度1Q

生活消費関連	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Dole事業取得など 	約 1,500億円
基礎産業関連	<ul style="list-style-type: none"> ◆イングエナジー取得(伊藤忠エネクス)など 	約 200億円
非資源		約 1,700億円
資源	<ul style="list-style-type: none"> ◆IMEA拡張 ◆ACG(アゼルバイジャン) 拡張 ◆CIECO (E&P) UK WIDP向け投資など 	約 200億円
グロス金額		約 1,900億円
ネット金額		約 1,600億円

2カ年累計 計画

非資源:資源 比率は2:1	1兆円
	約 8,000億円

◆米国Dole社のアジア・青果物事業およびグローバル・加工食品事業の買収(食料) 〈2012年12月公表〉

- ✓ 米国Dole社より、アジアにおける青果物事業とグローバルに展開する加工食品事業を買収。
(買収総額:約1,500億円。実行日は2013/4/1)
- ✓ 青果物事業においては、バナナ、パイナップルは世界で最大級の販売量を誇り、アジア市場においてトップシェアを有する。
- ✓ 加工食品事業においては、フルーツ・野菜の缶詰はもちろん、フルーツカップ、フルーツボトル等を手掛け、特に規模の大きい北米市場でのシェアはトップシェアを誇る。



1. 伊藤忠商事について

- ・会社概要
- ・昨年度までの業績推移

2. 中期経営計画及び2013年度第1四半期決算について

- ・中期経営計画 —Brand-new Deal 2014—
- ・2013年度第1四半期決算について
- ・投資/EXIT実績について

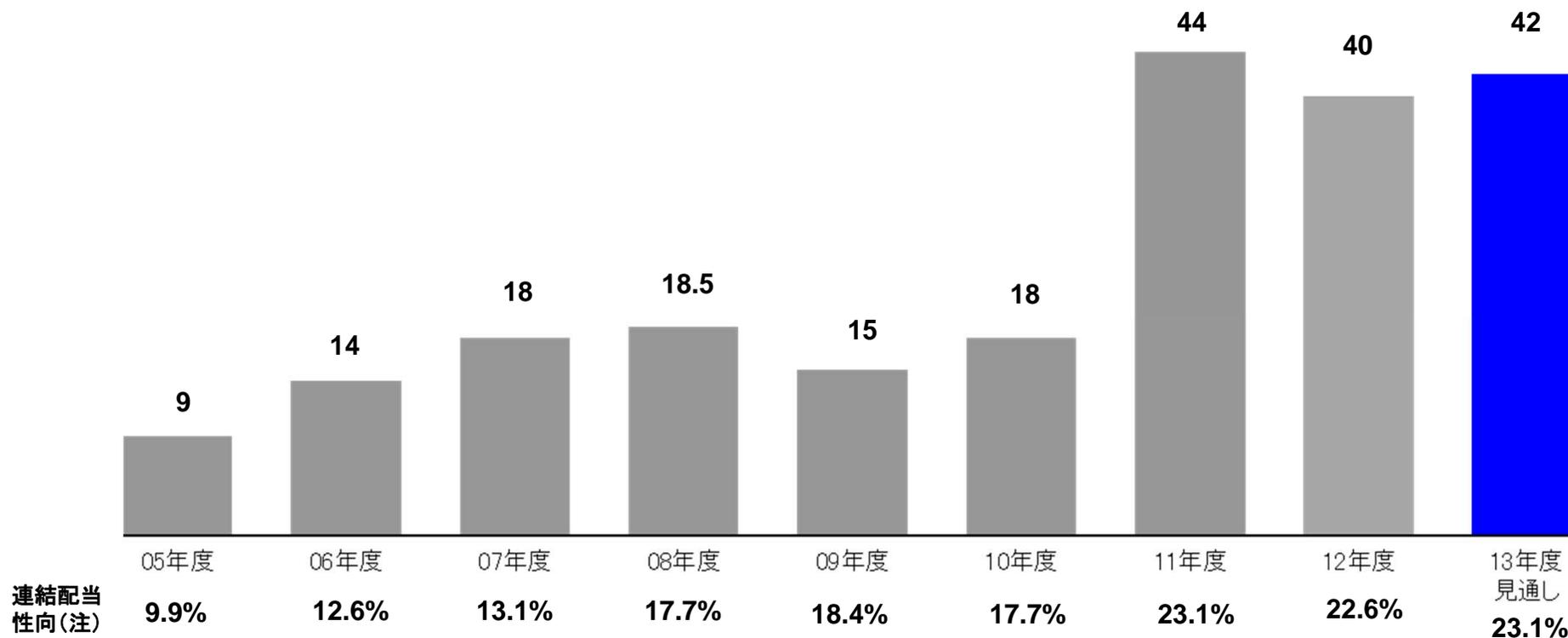
3. 配当方針

4. 各セグメントのビジネス概要

当中期経営計画期間中の株主配当金につきましては、当社株主帰属当期純利益が
2,000 億円／年までの部分に対しては連結配当性向20%
2,000 億円／年を超える部分に対しては連結配当性向30%
 を目処に、実施いたします。

<2013年度の利益配分について>

2013年度につきましては、上記基本方針に基づき、1株あたり42円(内、中間配当21円)を予定しております。



(注) 配当総額 ÷ 当社株主帰属当期純利益

1. 伊藤忠商事について

- ・会社概要
- ・昨年度までの業績推移

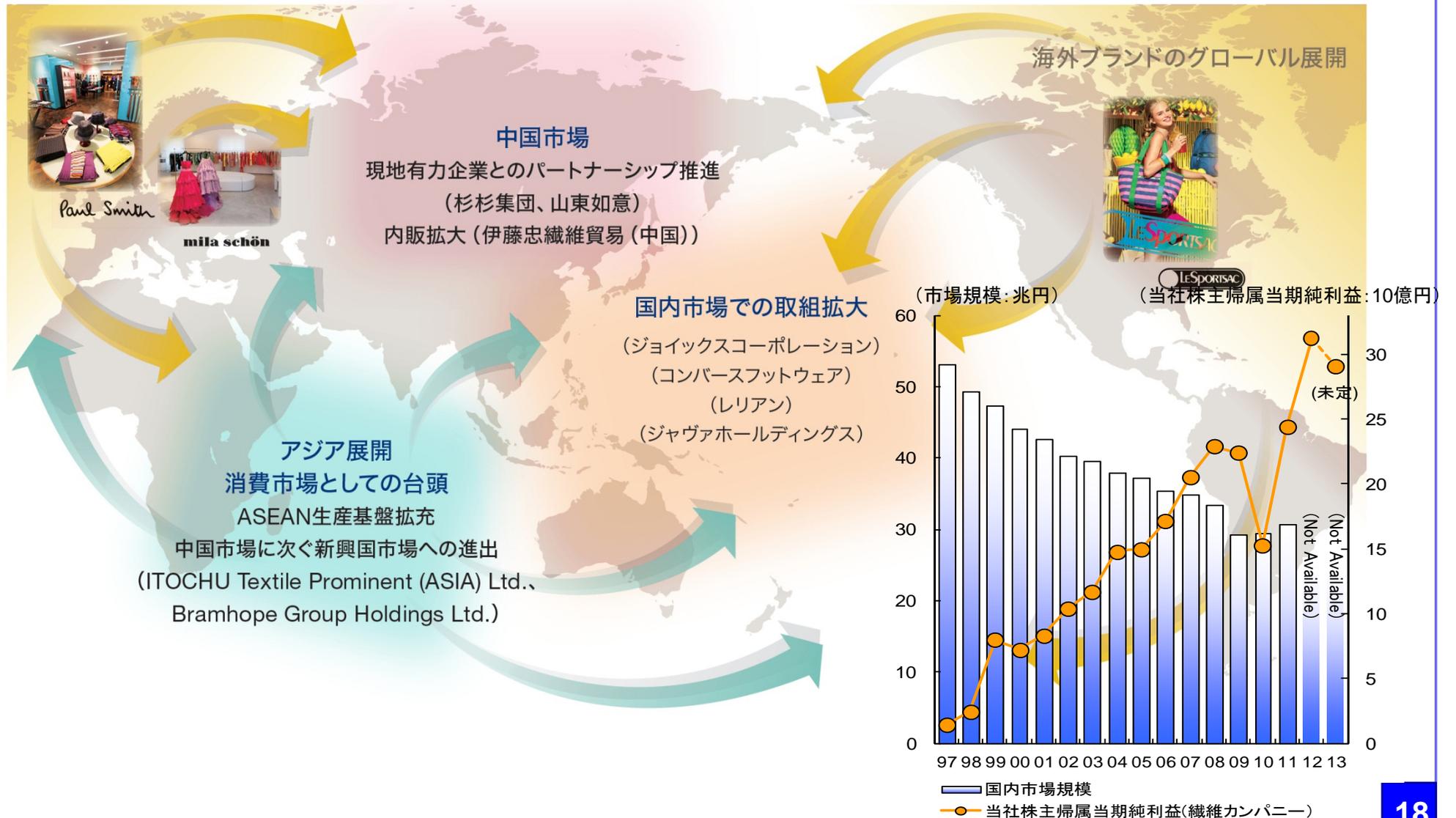
2. 中期経営計画及び2013年度第1四半期決算について

- ・中期経営計画 —Brand-new Deal 2014—
- ・2013年度第1四半期決算について
- ・投資/EXIT実績について

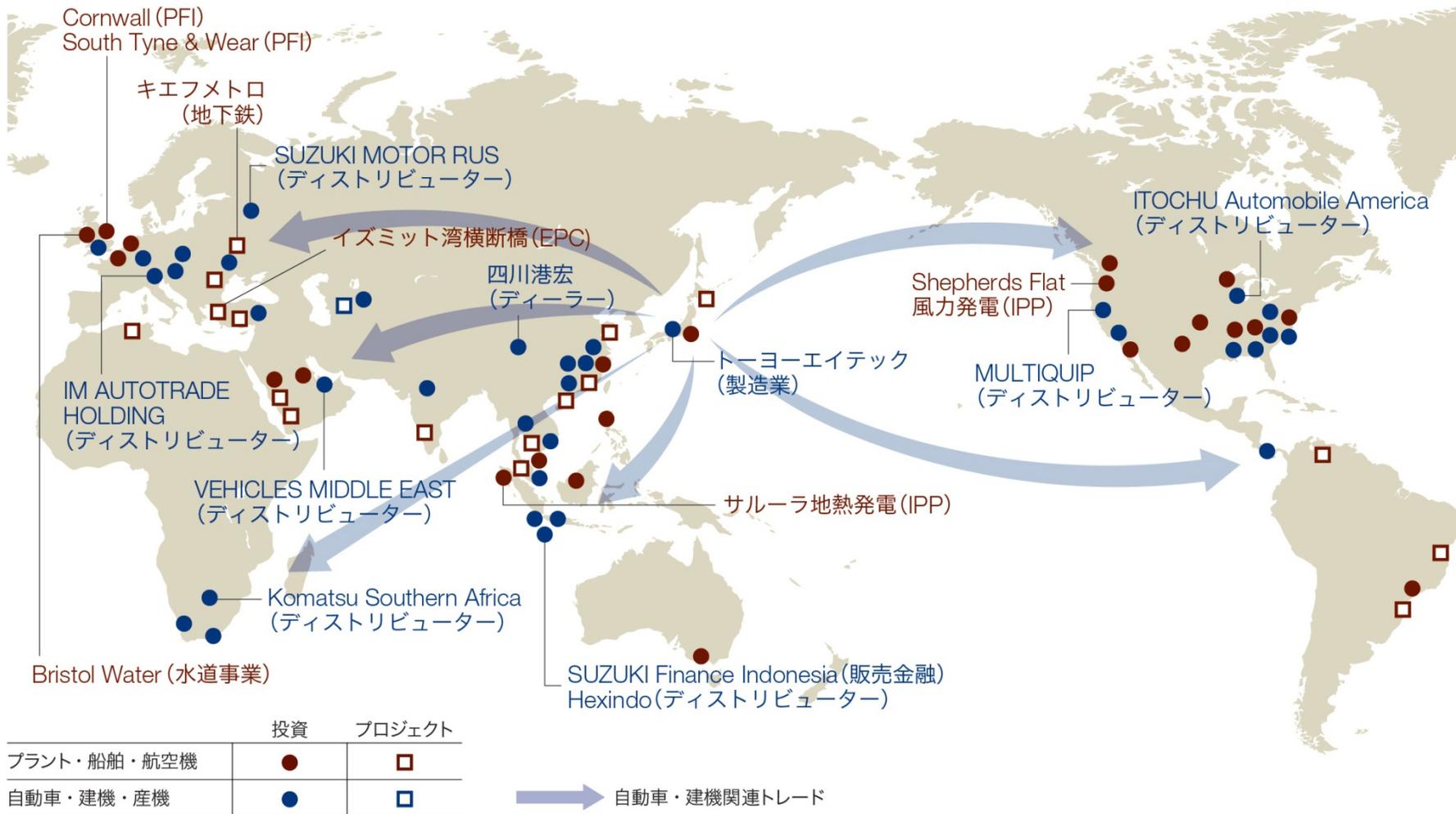
3. 配当方針

4. 各セグメントのビジネス概要

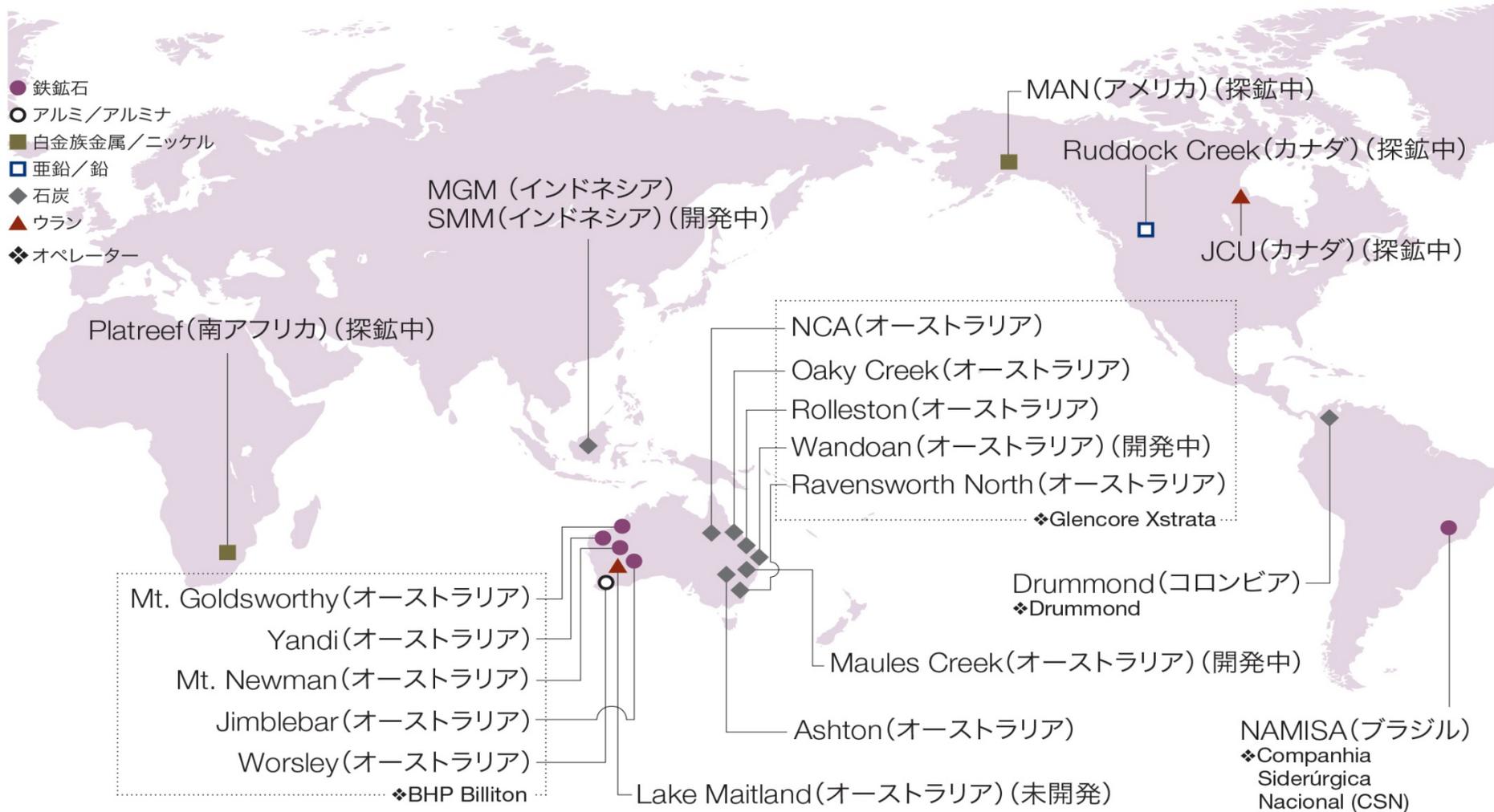
ビジネスポートフォリオ



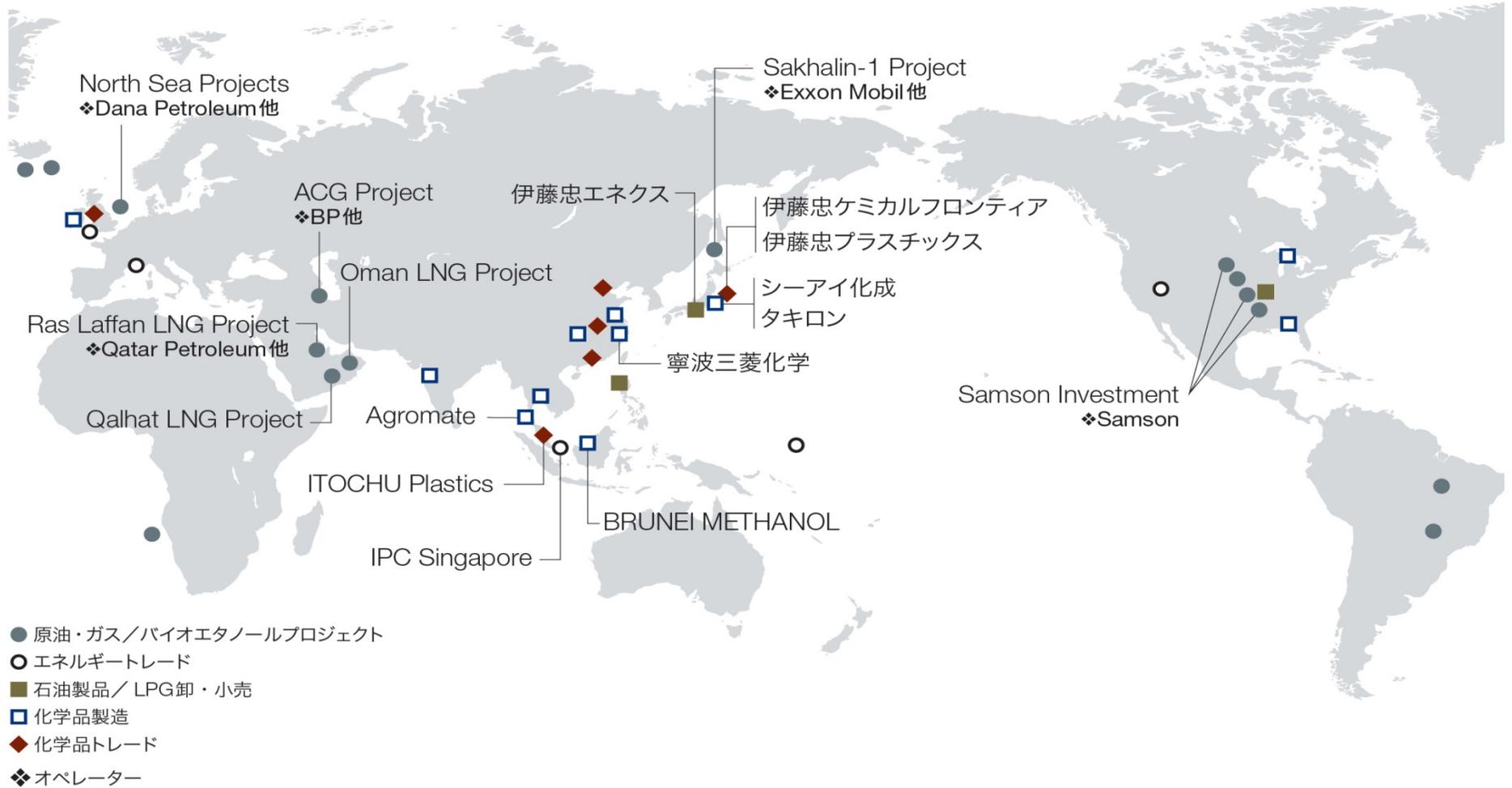
ビジネスポートフォリオ



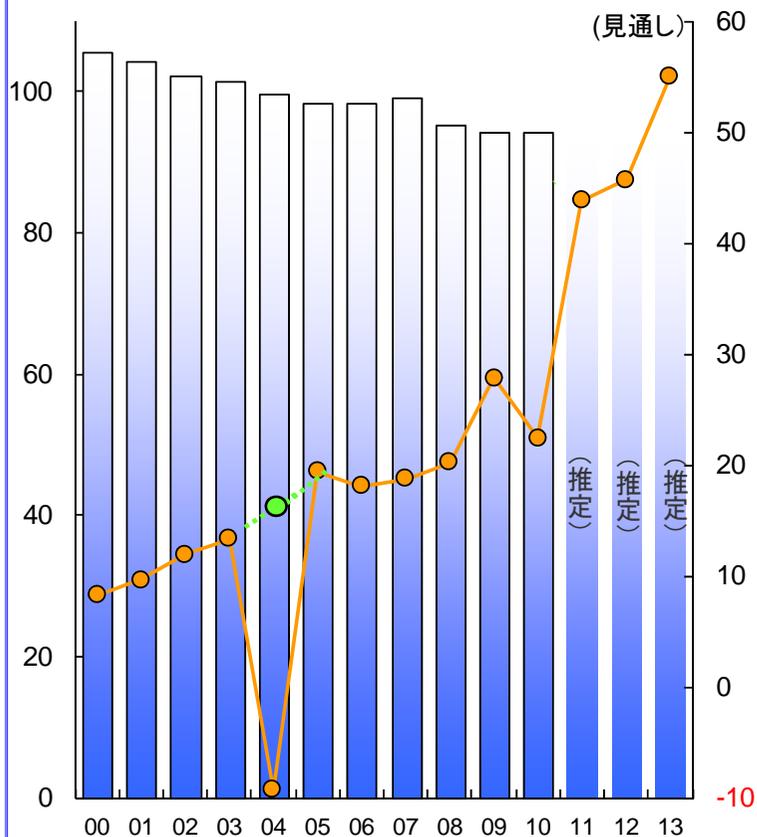
ビジネスポートフォリオ



ビジネスポートフォリオ



(市場規模: 兆円) (当社株主帰属当期純利益: 10億円)



(年度)

国内市場規模

当社株主帰属当期純利益(食料カンパニー)

特殊要因を除いた当社株主帰属当期純利益 (食料カンパニー)

(見通し)

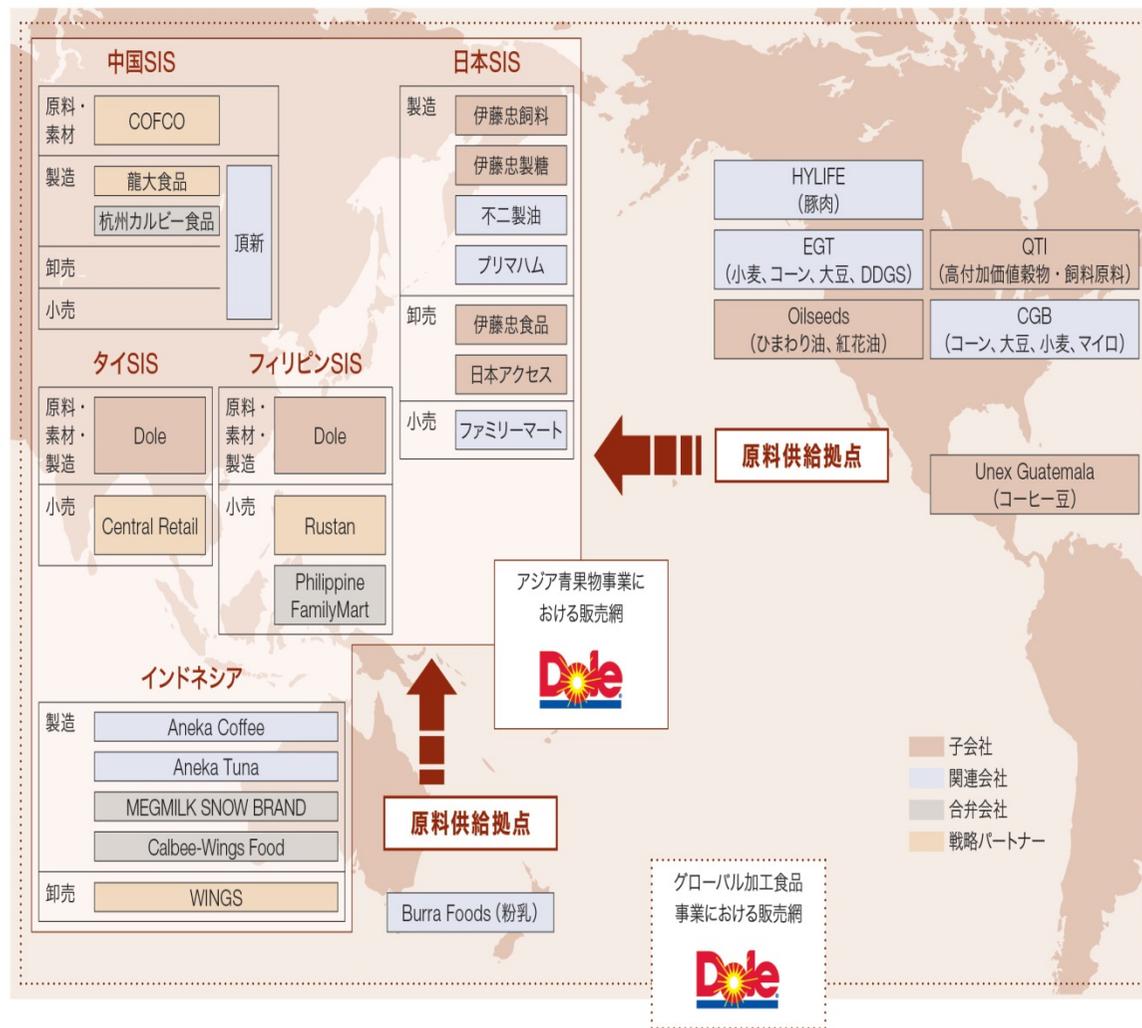
(見通し)

(推定)

(推定)

(推定)

ビジネスポートフォリオ



ビジネスポートフォリオ

<p>生活資材部門</p>	 <p>パルプ製造事業 (ブラジル、フィンランド)</p>	 <p>東南アジア天然ゴム加工事業</p>	 <p>英国タイヤ卸・小売事業</p>	 <p>北米建材事業</p>
<p>情報・保険・ 物流部門</p>	 <p>ITサービス事業</p>	 <p>携帯端末流通事業</p>	 <p>物流事業</p>	 <p>保険事業</p>
<p>建設・金融部門</p>	 <p>国内住宅開発事業</p>	 <p>海外不動産開発事業</p>	 <p>物流施設開発事業</p>	 <p>国内／海外 金融事業</p>

見通しに関する注意事項

本資料に記載されている当社の計画、戦略、見通し及びその他の歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な期待、見積り、予想に基づいています。これらの期待、見積り、予想は、経済情勢の変化、為替レートの変動、競争環境の変化、係争中及び将来の訴訟の結果、資金調達の継続的な有用性等多くの潜在的リスク、不確実な要素、仮定の影響を受けますので、実際の業績は見通しから大きく異なる可能性があります。従って、これらの将来予測に関する記述に全面的に依拠することは差し控えるようお願いいたします。また、当社は新しい情報、将来の出来事等に基づきこれらの将来予測を更新する義務を負うものではありません。

ITOCU
ITOCU